



飛行機の魅力を存分に味わった 枕崎空港で航空教室

市では、航空教室を7月28日に開催し、市内外から約60名の親子連れなどが参加しました。このイベントは九州大学工学研究院と西日本航空協会の協力により実現したものです。フライトシミュコレーターや紙飛行機製作体験教室など体験型の催しを行いました。紙飛行機製作では、親子一緒に楽しんで紙飛行機を作り、疑似飛行体験に夢中でした。子どもたちは、手に汗にぎりきつと、夏休みの楽しい思い出にならなかったことでしょう。



「風の芸術展」に 実行委員会から寄付

風の芸術展実行委員会（揚野卓郎会長）が7月12日、風の芸術展の運営資金にと、市に330万円を寄付されました。

同会は、「第8回風の芸術展」を資金的にバックアップし、芸術展を実現させようと、平成16年6月、商工会議所や漁協など市内16団体で結成されました。

資金は、三遊亭歌之介独演会などのイベント収益や、洋画家の野見山暁治さんのデザインによるオリジナルタオル販売等でできた収益によるものです。



【第8回風の芸術展受賞作家作品展】9月17日まで（月曜休館・17日（月）は開館）観覧料：大人500円、高校・大学生100円、中学生以下は無料

枕崎から全国に芸術文化を発信する「第8回風の芸術展受賞作家作品展」が7月28日に開幕しました。5年ぶりとなる今回は、第7回展までの受賞作家61名が、平面作品34点、立体作品27点を出展。会場の南溟館に、所狭しと展示されています。

開幕日のオープニングセレモニーには、出品作家、審査員、市民の方々など約150人が出席し、久しぶりの開催を祝いました。続いて行われた記念シンポジウムでは、長年、風の芸術展に携わっておられる洋画家の野見山暁治さんを初め、金澤毅さん（美術評論家）、林紀一郎さん（同）、最上壽之さん（立体創造作家）の4名の審査員が登壇。「地域の振興と美術」と題し、地域振興を大きな目的の一つとして始めた風の芸術展が、地域振興に果たしてきた役割や、今後の課題について討論されました。

記念シンポジウムでは、長年、風の芸術展に携わっておられる洋画家の野見山暁治さんは「中央画壇でも活躍している作家たちが、風の芸術展に出品し、この地でどのような評価をされると、他の審査員も一緒に、地域に根ざしたコンクールとして継続し、成長していくことを大切さを語っていました。

その後、個々の作品の講評が行われ、出品作家がそれぞれの作品について説明し、審査員の助言を受けていました。

野見山暁治さんは「中央画壇でも活躍している作家たちが、風の芸術展に出品し、この地でどのような評価をされると、他の審査員も一緒に、地域に根ざしたコンクールとして継続し、成長していくことを大切さを語っていました。その後、個々の作品の講評が行われ、出品作家がそれぞれの作品について説明し、審査員の助言を受けていました。

文化の南風、吹いています

『風の芸術展』盛大に開幕



記念シンポジウムの様子。審査員と出品作家のやりとりもみられました。

風のコンサート

開催時間：午後2時～（8月26日は午後4時から）会場：南溟館（第2展示場）

期日	出演タイトル	出演者
8/12(日)	フルートとピアノでちょっとこころ平和にっこり	池田博幸(フルート)、中島俊子(ピアノ)
8/19(日)	リコーダーアンサンブルの楽しみ	リコーダーアンサンブル"ドルメッチ"
8/26(日)	ハーブの音色は あなたの心のオアシス	馬渡浩子(ハーブ)、安楽聰子(ハーブ)
9/2(日)	石井いづみ&大迫貴デュオコンサート	石井いづみ(ヴァイオリン)、大迫貴(ピアノ)
9/9(日)	平成のさわやかなデュオ	RENS(レンズ)
9/16(日)	ハーモニーを奏でる仲間たち	アカペラグループLips&枕崎少年少女合唱団

野見山暁治さんは「中央画壇でも活躍している作家たちが、風の芸術展に出品し、この地でどのような評価をされると、他の審査員も一緒に、地域に根ざしたコンクールとして継続し、成長していくことを大切さを語っていました。その後、個々の作品の講評が行われ、出品作家がそれぞれの作品について説明し、審査員の助言を受けていました。

枕崎少年少女合唱団 第1回定期演奏会